

第5回自然体験活動指導者養成研修会

日時；平成20年11月30日（日）

9時30分～16時20分

場所；荒神山少年自然の家

○研修Ⅰ「安全管理」

講師：びわこ成蹊スポーツ大学教授 中野友博 氏

まず、自然体験活動と野外教育の概念を押さえていただいた後、「本物の体験」「わくわくドキドキの体験」には、安全管理の徹底が必要であることや、「何を学習させるのか」というコンセプトと「ふりかえり」まで含めたプログラミングが必要であることを教えていただきました。



リスクマネジメントとして、「安全対策・管理」から「安全教育」へ考え方をシフトし、危険予知や危険回避、応急処置等の研修が大事であるということで、KYT（危険予知トレーニング）、RME（リスクマネジメント・エクササイズ）の演習を行いました。



○研修Ⅱ「救急救命法」

講師：彦根市消防署南分署 署員4名

一人ひとりが、救命のリレー（「119番通報」・「応急手当」・「高度な救急処置」・「高度な救命医療」をつなげて命を助ける）の第1走者としてスタートに立っていただきたい、というお話をお聞きし、その後、心肺蘇生法の実習に取り組みました。



○修了証と履修証明書の交付

野瀬参事より修了証と履修証明書が交付されました。修了証が交付された方については、ホームページに情報がアップされること、履修証明書は他の研修会場でも有効であることをお伝えしました。

